

知っていますか？ インスリンの保管法

今回は、下記のインスリン保管に関する事をまとめてみました。ぜひ参考にして下さい。

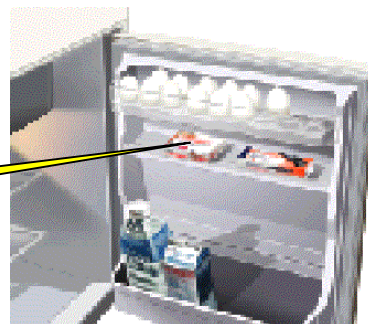
- ◆インスリンの保管法を間違っている方が時々おられます。
- ◆インスリンを保管する時に、針をつけたままにしている方も時々おられます。
- ◆インスリンを正しく打っていても保管法を間違っていると、インスリンの効果が出ない事も考えられます。

正しいインスリンの保管法

未使用(新品)のインスリンは冷蔵庫で保存し、凍らせないでください。

☆凍結を避け2℃～8℃で保存

インスリンは立てずに寝かせて保存してください。



使い始めたインスリンは室温で保存し、高温に注意してください。

直射日光に当てたり、熱くならないようにしてください。

日中の車の中は50℃以上になることがあるので、放置しないでください。

☆室温; 1℃～30℃
で保存



インスリンはもともと人が身体の中で作っているホルモンです。人が耐えられない環境ではインスリンもまた耐えられません。

暑さにも凍結にも弱いのです。

また、インスリンは強い光で分解してしまいますので直射日光は必ず避けて保管してください。

インスリンの針は毎回交換していますか？

◎針をつけたままにすると、液漏れをおこすことがあります。



インスリンが漏れて
インスリンの効果が変わることがあります。

◎針をつけたままにすると、針詰まりがおきることがあります。

針の中で薬液の水分が蒸発し、固まってしまうことがあります。

◎針をつけたままにしたり、同じ針を何度も使用したりすると
感染の原因となることがあります。

針をつけたままにしていることで、雑菌が薬液の中に入ってしまう
おそれがあります。

◎新しい針ではなく、同じ針を何回も使用すると、痛みが強
くなったり、針が折れやすくなったりすることがあります。

同じ針を何回も使用すると、針先が痛んで変形して、注射時の
痛みが強くなる可能性があります。また、針は何度も使用する
ことで、針の強度が落ちて、曲がりやすくなったり、折れやす
くなったりします。

